

令和7年度 市長とセットトーク意見交換要旨

開催日：令和8年1月27日（火曜日）13時30分～14時30分

開催場所：JA岡山長船支所

団体・グループ名：JA岡山長船女性部

テーマ：まちづくり、産業、福祉、安全・安心、その他

（水道料金の基本料無償化について、マイナンバーカードと銀行口座の紐付けについて、避難所の設営について、宮下地区の土地について、市長のSNSにおける発信内容について、障害者支援について）

★意見交換要旨★

・瀬戸内市では、物価高騰対策支援として水道料金の基本料無償化（以下、「水道料金無償化」）が決まったが、水道料金を支払わない人には物価高騰対策支援金（以下、「対策支援金」）が渡らないため、水道料金を支払う人との間で格差が生じる。このことについて、市長はどのように考えているか。

・対策支援金を水道料金無償化に充てるという方法に、納得しない人もいると思う。対策支援金を市民一人ひとりへ現金で配布する方法を望む声もある中、なぜこの方法を選んだのか。

（市長）

おっしゃるとおり、水道料金を支払っていない人への公平性に関する意見は議論が必要だと感じている。しかし、現金や商品券を配る場合、手数料や配布の手間や経費がかかり、市民への還元率が低くなるという問題がある。水道料金無償化は市が直接運営するサービスのため、請求を停止するだけで手数料や人件費がかからず、コストゼロで実現できる。市民の手取りを増やすという目的から、対策支援金を最も市民に渡せる方法を模索した結果、水道料金無償化を実施することに決めた。

現金での配布も協議したが、コストがかなりかかる。手数料をかけてほしくないという声を反映させつつ議論を続けた結果、水道料金無償化が一番コストをかけずに市民に対策支援金を配れると考えた。

現時点では議会の承認を得て、2か月分の無償化が実施されている。さらに半年分、最終的には1年間の基本料金無償化を目指している。

・人数の多い家庭と一人暮らしでは、水道料金が無償化される期間に差がないことについて、不公平感を覚える。

（市長）

水道料金が無償化される期間に差を設けることは、水道局が世帯の人数を把握することはできないため、難しい。公平性の観点で何がベストなのか、引き続き議論を進めたい。

・現金や商品券を配る他の自治体では配布額が増えているようだが、その理由はなぜか。瀬戸内市では他の自治体のように、市民への利益をもっと増やす施策をしないのか。

(市長)

瀬戸内市では、対策支援金の配布が決まった当初、半年分の水道料金無償化を想定していた。しかし、対策支援金が想定より多く確保できたため、現在は1年間の水道料金無償化を検討している。このことから、他の自治体でも同様に、最初に想定していた支援より多くの支援が可能となったため、配布を行う自治体では配布金額が増加したのではないかと考える。

・水道料金無償化は、現金と比べると受け取った実感があまりない。

(市長)

その点については議論があった。現金の場合、受け取った実感があるという意見も理解している。しかし、配布の際に発生する手数料や運用コストを考慮すると、水道料金無償化の方が、最も効率よく市民に利益を還元できる方法だと判断した。本来の目的である、市民の手取りを増やすという点では、コストのかからない方法を選ぶのが適切だと考える。

・このような取り組み実施に至った考え方などについて、市民にもっと分かりやすく説明してほしい。周知はしているか。

(市長)

現在、市民に向けて広報紙やLINE、YouTubeなどを活用し、情報を発信している。今後、より多くの人に分かりやすく伝えられるよう努めていく。

・水道料金無償化は良い取り組みだと思う。水道料金は負担感を感じるため、1年間の基本料無償化が実現すればとても助かる。

そのように言っていただきありがたい。こうした市民の皆さんの声を励みに、施策の推進へ引き続き取り組んでいく。

・マイナンバーカードについて、マイナンバーカードと銀行の紐付けが必要な理由を教えてください。補助金のような制度を利用して市役所からお金を振り込んでもらう場合、手数料がかかるためか。

(市長)

おっしゃるとおり、マイナンバーカードと銀行の紐付けを推奨する理由は、補助金などの振込に係る手数料が抑えられるためである。さらに、市役所の窓口に来ていただいて行う手続きを必要しないため、手続きが簡略化する。

現在、瀬戸内市ではマイナンバーカードの普及率が約75%である。しかし、マイナンバーカードを銀行口座に紐付けていない人と、マイナンバーカードを持たない人がいるため、

手続きが複雑化している。マイナンバーカードと銀行口座の紐付けができていない場合は窓口での手続きが必要になり、さらにマイナンバーカードを持っていない場合は異なる手続きが必要になるため、3つの対応が発生する。3つの対応を同時に行うと、逆に手続きに係る費用と手間が増えるという課題があるため、市民にマイナンバーカードと銀行口座を紐づけてもらう手続きに統一したい。

・子どもがいる家庭の場合は、既に子ども手当の関係で銀行口座が紐づいているのか。

(市長)

おっしゃるとおり、子育て施策として国から配布された2万円の子育て支援金も、マイナンバーカードと口座が紐づいていることでスムーズに手続きが進められている。このようにマイナンバーカードと銀行口座が紐づいていれば、市役所の提供するサービスをすべての人に迅速かつ効率的に配布できる体制が整う。最終的には、市民全員がマイナンバーカードを所持し、銀行口座と紐付けていただければ、手続きの簡略化とコスト削減が可能になると考える。

・市民に対して、マイナンバーカードを持つように周知活動は行われているか。

(市長)

各担当課がプロモーション活動を行い、普及率向上を模索している。しかし、マイナンバーカードはきっかけがないと作らない人が多いのが現状である。そのため、検討している施策の一例として、図書館利用権をマイナンバーカードで代用するという案がある。市のサービス利用時に新しくカードを発行するのではなく、既存のマイナンバーカードで代用できる仕組みを作ることで、カードを保有する人を増やせるのではないかと考えている。

・長船町公民館の跡地について、現在ゆめトピア長船が建っているが、さらにこども園ができると聞いた。こども園ができるのは良いと思うが、有事の際に避難できる施設を一日も早く建ててほしい。福里は土地が低いため、特に水害が心配である。2～3階建ての避難できる施設を建ててほしいという要望を前市長の時から出しているが、進展がない。要望書を確認して検討してもらえるか。

(市長)

避難施設を新しく建設するには多額の費用がかかるため、現在、新しくできるこども園に避難場所の機能を統合する方向で検討している。地域住民からの要望を反映して、外からでも階段で上がれる2階建ての設計にしている。

【補足情報】

長船町公民館跡地への避難所整備については、地域住民の避難場所としての対策の一環として、令和7年4月にJA岡山長船支所と「災害時における指定避難所」の災害協定を締結している。

・こども園では、避難場所として人数のキャパシティが足りないと感じる。特に水害が心配。200～300人が迅速に避難でき、安心して過ごせるようにしてほしい。

(市長)

ご心配はごもっともである。現在、力を入れているのは水害が発生しないような仕組みの構築である。国の予算を活用し、氾濫の起きない対策を最優先に進めている。平成2年の水害以降、対策は前進しており、水害が起きていない実績がある。

・しかし、昭和51年の水害のときは吉井川が決壊していなくても、福里は浸水した。このような状況を考慮して、早めの対策をお願いしたい。

(市長)

その点については常に意識しており、今後も議論を続けていく。

・福里地区に市営バスが全く通っていない。現在、磯上から備前を通過してマルナカに行くルートがあるが、福里を通るルートに変えてほしい。地域住民が買い物のためにタクシーを利用しなければならない現状で困っている。

(市長)

福里地区を含む路線については、いくつかの方法を検討している。

まず、備前市営バスに、現在運行中の路線をハローズなどに寄っていただくようお願いしている。しかし、この変更を実現するためには、利用者数が増える見込みが必要となるため、備前市民がどれくらいの頻度でハローズに行っているのか、またハローズへ行くバスへの需要があるのかといった情報を収集し、説得力をもって交渉に臨む必要がある。

もう一つは、今長船を通過している市営バスについて、ルート改変できないか検討している。しかし、1便あたりの運行時間が50分以内でないと運転手の人件費や運営コストの関係で運行が難しいという課題がある。そのため、50分を超えるルートの延伸やバス停の追加は困難な状況である。

最後は、新規路線を作ることも選択肢として検討している。ただし、今年度は市長就任と予算編成のタイミングの関係で、検討が遅れてしまった。この要望は認識しているため、今後も最善策を模索していく。

・市営バスが土曜日と日曜日、祝日は長船を通らないため、イベントなどに行きたくてもいけない。

(市長)

休日の運行に関しては、以前から地域住民から要望をいただいている。しかし、運行便数を増やす場合、1便あたりにかかる費用が約1,000万円となるため、利用者数が少ないと実現が難しい状況である。

ただし、増便が実現した例もある。虫明・長島愛生園便線については、住民の要望と前年

比 150%以上の利用者増が確認された実績により増便が実現した。

このように、利用者の声がデータとして示されることで、予算をかけて増便する道が開ける可能性がある。さらに、現在 JR 増便についても交渉を進めている。JR を通じた市営バスの利用機会を拡大することで、地域住民のニーズに応えられるよう努めていく。

・長船駅の階段の上り下りが大変である。長船は特に高齢者が多いため、改善してほしい。利用者数や費用が課題になることは理解しているが、実現の検討を願う。

(市長)

長船駅のバリアフリー化については、エレベーター設置を進める場合、JR の施設を利用する必要があり、費用が 10 億円単位でかかると言われている。また、設置費用は市が担うことになるため、実現が難しい。

ただし、具体的な計画として、反対側のホーム近くに大規模マンションを建設し、人が増えれば駅の入口に対して投資が行われる可能性があると考えます。そのような再開発によってバリアフリー化への需要が高まり、議論が進むのではないかと思います。

・宮下に新しく土地ができて、アイリスオーヤマが進出する予定だと聞いているが、進展が見られない。現在の状況はどうなっているのか。

(市長)

進捗が遅れている原因として、まず、国の補助金を活用しようとしたが、補助金が出なかったことがあげられる。

さらにもう一つの要因として、当初は白米の生産を予定していたが、海外需要を見込んでいた販売ルートがアメリカのトランプ政権による関税政策の影響で米の価格が上昇し、取引が中止となったため、検討が止まっている状況である。これらの要因から、計画が 1 年遅れている。

今後の計画としては、今年工事に着手し、来年には物流棟が稼働する見込みである。ただし、白米の生産についてはさらに 1 年後になると予測している。

・福里の土木委員から長船公民館の前の道、道幅が狭いため道を広げてほしいという要望を 10 年以上前から市の建設課へ提出しているが、話が進まない。今回、こども園ができることで交通量がさらに増えることが予測できるため、せめて、道の中央に白線を引くことを検討してほしい。

(市長)

瀬戸内市には、年間で 1,000 件以上の要望が寄せられており、その中で実現するのは約半数ほどとなる。実現への一歩として、まずは中央に白線を入れた道路を作ってもらいたいという具体的な要望を提出していただき、その検討対象となる要望に含まれることが重要だと考える。そのため、地域の土木委員を通じて要望を提出していただきたい。

・市長が SNS で情報を発信すること自体は良いと思うが、次の議会で出そうと思う案を、議会を通さずに発信をすることについて、違和感を持っている。このような発信の仕方は、市民からすると、議会に対して市民を人質に取っているような印象を受ける。議会で議論を行った後に、承認された内容を市長から発信し、市民に協力を求める形を取るべきだと考える。

(市長)

私が SNS で自身の案を発信する意図は、市民の意見を反映させた案を議会で提案するためである。自身の案を市民に報告し、案に対する市民の意見をいただきながら修正を加えることで、市民の意見を反映させた案を作っている。この方法では、実施すると発信した内容であっても、状況によっては実現しないことはある。

しかし、自身の考えだけで案を練ると、私 1 人の意見に偏ってしまう。そのため、事前に市民の意見を取り入れ、十分にすり合わせた上で意見を練り、議会に報告することが重要だと考える。このプロセスを踏むことで、議会の皆さんに対しても敬意を示せると思う。

・岡山県の視覚障害者の集まりでは、瀬戸内市は手助けが少ないという声があった。もっと障害者について、市民にも市長にも勉強してほしい。

(市長)

私が聞いた限りでは、瀬戸内市の障害者支援は周辺自治体よりも手厚いという意見を多くいただいている。施設も多く、予算の中で障害者支援に充てる割合も大きい。今回、このような意見をいただいたため、瀬戸内市の障害者支援も分野によっては支援が不十分なものもあることを頭に入れておく。

・長船協議会は 3~4 人で細々と運営しているため、資金が不足しており、何をするにも財政的に実施が厳しい状況である。市に助成金を相談しても、条件が厳しく申請が通らないため、助成金をもっと柔軟に出してほしい。

(市長)

助成金の申請条件については、福祉部と連携して検討を進め、より利用しやすい制度に改善していきたい。

・拡大鏡などの視覚補助具について、新しい良いものが出てるが、瀬戸内市は、補助額に関する規定が、何年も前から改定されてない。新しいものが買いたくても、規定に当てはまらずに補助が受けられないため、規定を改定してほしい。

(市長)

瀬戸内市での障害者補助に係る支援例として、難聴者向けの補聴器貸出制度を岡山県内で初めて導入したことをあげる。この制度は、難聴の市民の声が大きかったことが要因だと

思う。

このように、市民から具体的な要望をいただくと、関係部署が実現に向けた動きをしやすくなると考えられるため、多くの要望を寄せていただきたい。